

令和6年5月29日

課名	消費生活センター
担当	芦田、藤井
内線	2898
直通	086-226-1019

お知らせ

令和5年度の消費生活相談の状況がまとまりました

岡山県消費生活センターでは、県民の消費生活の安定と向上を図るため消費生活相談を行っておりますが、令和5年度の相談の概要を取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 令和5年度の傾向

- (1) 令和5年度の相談件数は6,235件で、前年度に比べ390件減少した。(△5.9%)
- (2) 年代別では20歳未満の相談が増加し、特に17歳までの未成年者の相談が増えた。
- (3) 29歳以下の年代と65歳以上の年代では「インターネット通信サービス」がそれぞれ前年度12件から23件、43件から62件と増加が目立った。また、65歳以上の年代では「電報・固定電話」も前年度18件から37件に増加した。
- (4) 相談件数の上位10位には入らないが、クレジットカードや暗号資産などに関する「他の金融関連サービス」が前年度100件から140件となり増加数としては最多であった。

2 相談件数及び内容

順位	相談内容	件 数			備 考
		R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	
1	商 品 一 般	770	733	929	商品の相談であるが商品を特定できないもの(架空請求メール等)
2	役 務 そ の 他	367	331	324	占いサイト、ウイルス対策サポート、廃品回収など
3	化 粧 品	366	434	315	美容液、化粧品、養毛剤、歯磨き粉など
4	健 康 食 品	216	202	233	サプリメント、健康食品、酵素食品など
5	レンタル・リース・貸借	215	258	344	賃貸アパート、借家など
6	他 の 教 養 ・ 娯 楽	210	192	228	オンラインゲーム、出会い系サイトなど
7	娯楽等情報配信サービス	192	181	233	アダルトサイト情報など
8	自 動 車	175	145	160	自動車、自動車部品など
9	インターネット通信サービス	164	166	222	光回線などインターネット接続回線、プロバイダーなど
10	移動通信サービス	154	169	216	携帯電話、スマートフォン、Wi-Fiルータなど
	そ の 他	3,406	3,814	4,416	
	不当(架空)請求(*)	931	964	1,034	
	不当(架空)請求以外	5,304	5,661	6,586	-
	合 計	6,235	6,625	7,620	-

(注) 件数は、令和6年4月末時点の集計値である。(以下、項目3～5も同じ)

(*) 不当(架空)請求の商品別の上位3位は、商品一般 209件(前年度 198件)、娯楽等情報配信サービス 124件(同 118件)、レンタル・リース・貸借 63件(同 74件)である。

3 契約当事者年代別相談件数

年 代	R 5 年度		R 4 年度		前年度比
	件 数	割 合	件 数	割 合	
20歳未満	181	2.9%	149	2.2%	121.5%
20歳代	438	7.0%	559	8.4%	78.4%
30歳代	435	7.0%	508	7.7%	85.6%
40歳代	567	9.1%	718	10.8%	79.0%
50歳代	799	12.8%	882	13.3%	90.6%
60歳代	841	13.5%	842	12.7%	99.9%
70歳以上	1,404	22.5%	1,363	20.6%	103.0%
不明	1,570	25.2%	1,604	24.2%	97.9%
合計	6,235	100.0%	6,625	100.0%	94.1%

4 若者・高齢者からの相談内容（括弧書きは令和4年度）

<29歳以下の年代からの相談件数>

順位	相談内容	件 数
1	他の教養・娯楽	88 (81)
2	理美容	68 (80)
3	娯楽等情報配信サービス	40 (31)
4	レンタル・リース・貸借	31 (41)
	役務その他	31 (34)
6	商品一般	29 (44)
7	内職・副業	28 (25)
8	インターネット通信サービス	23 (12)
9	自動車	22 (23)
10	化粧品	18 (24)
	その他	241 (313)
	合 計	619 (708)

<65歳以上の年代からの相談件数>

順位	相談内容	件 数
1	商品一般	269 (279)
2	化粧品	135 (142)
3	役務その他	100 (95)
4	健康食品	91 (76)
5	インターネット通信サービス	62 (43)
6	移動通信サービス	58 (52)
7	修理・補修	43 (36)
8	娯楽等情報配信サービス	42 (55)
9	工事・建築・加工	41 (38)
10	電報・固定電話	37 (18)
	その他	965 (949)
	合 計	1,843 (1,783)

5 20歳未満の相談状況（成年年齢引き下げに伴う状況関係）

契約当事者年齢	R 5 年度	R 4 年度	前年度比	(参考) R 3 年度
19～18歳の相談	74	75	98.7%	94
うち契約当事者 本人からの相談	40	36	111.1%	48
未成年者（17歳以下）の相談	107	74	144.6%	91

- 18～19歳の相談の商品別の上位3位は、①内職・副業 8件（前年度 1件）、②他の教養・娯楽 6件（同 10件）、③移動通信サービス 5件（同 2件）、役務その他 5件（同 4件）、理美容 5件（同 5件）、商品一般 5件（同 6件）であった。
- 未成年者の相談の商品別の上位3位は、①他の教養・娯楽 48件（前年度 28件）、②娯楽等情報配信サービス 12件（同 7件）、③化粧品 8件（同 11件）であった。